

栄光

説教・「神と顔を合わせる」菊地信行神学生	1
特集・心にいいこと・体にいいこと	2
恵泉だより	5
説教・「恵みの言葉」岸牧師	6
伝道師の書き込み	7
牧師の書斎から	7
長老のファイル	8

『神と顔を合わせる』

教 説

創世記4章1節〜7節

コリントの信徒への手紙 一 13章12節

東京神学大学大学院2年 菊地信行

旧約聖書において、神がその御顔を向けてくださる、という行為には特別な意味があります。民数記6章22節〜26節にはこのような言葉が記されています。「主があなたを祝福し、あなたを守られるように。主が御顔を向けてあなたを照らし／あなたに恵みを与えられるように。主が御顔をあなたに向けて／あなたに平安を賜るように」。これは礼拝の最後の祝福の祈りで祈られることが多い箇所です。民数記においても、礼拝を締め括る祝福の祈りとして、この言葉が祈られています。しかし、一方で、エゼキエル書20章35節で神は、「顔と顔を合わせて、あなたがたをさばく」とも語られています。つまり、神が顔を向けてくだ

さるということは、神の祝福と、また神の怒りを示すものでした。カインとアベルの物語では、神と顔を合わせるという記述はありますが、神と直接会って話す様子もありません。カインは土の子が記されています。カインは土の実りを、アベルは羊の中から肥えた初子を捧げたと記されています。その時、神はアベルが持つてきた捧げ物にだけ目を留められました。そして、カインは激しく怒って顔を伏せます。顔を伏せたカインに主は、「どうして顔を伏せるのか」と尋ねます。その問いかけに続けて、「もしお前が正しいのなら、顔を上げられるはずではないか。正しくないなら、罪は戸口で待ち伏せており、お前を求めます。お前はそれを支配せねばなら

ない」と言われるのです。この時のカインの激しい怒りが、何に対する怒りであったかは具体的には書かれていません。しかし、想像するに、それは自分の捧げ物に目を留めてくれなかった主への怒りであったように思われます。あるいは神が目留めるほどの捧げ物を持つてきた弟への嫉妬。もしかすると、神が目留めてくださるような捧げ物を用意できなかった自分への怒りだったかもしれません。いずれにせよ、ここで主は、カインの胸の内にある思いを、正しくないと断言しておられるのです。しかし、さらにここで考えたいのは、顔を伏せる動機は決して怒りだけではない、ということ。それはつまり、私たちが顔を伏せる数々の理由の先にこそ、罪が待ち受けている、ということなのです。この罪が、私たちと神様との関係において大きな妨げとなり、時には取り返しのつかないような仕方です。カインの場合、それは弟を殺すという形で、罪を犯してしまっています。

えられています。それは、神から目を留めてもらうことそれ自体が重要ではないということ。それよりももっと大切なことが前提としてあったのです。それは、神と顔を合わせられる場所に、身を置くことが赦されているということです。カインは捧げ物を持って来た時、おそらく神と顔を合わせていたことでしょう。それは、神がカインに御顔を向けていた、ということに他なりません。カインはこの時確かに、御顔に照らされ、神の祝福に与っていたのです。誰がいつ自分に目を留めてくれるようになるのか、私たちはそこに喜びや平安を求めなくとも良いのです。私たちは教会で捧げる礼拝を通して、御顔を拝することができ、ここに真実な喜びと平安があることを確かにするのであります。私たちが地上での歩みが、順調な時も、逆境の時にあっても、絶えず注がれている祝福を確かにすることができ、共に主の御顔を尋ね求めていきたいと願っています。

ここで私たちは一つの事実を教

心にいいこと

体にいいこと



長引くコロナ禍にあるいま、

心や体の健康を保つために、何かやっていますか？

自分のために、家族のために、様々な人のために。

無理せず、のんびり

大友太郎

大学に8年通い、その後大学生協食堂で調理のパート、映像の仕事、そして東京都の教員、一度教員を辞めて映画の仕事など、その時々の流れで仕事をしてきました。

8年前に再び東京都の教員として働くことになったとき、勤め始めて数ヶ月後、朝起きて仕事に向かうと、胸がぞわぞわしてしまうようになっていました。これはいかんと、母が行きつけの心療内科に行き、薬をもらおうとすぐに「元気になり、その後、その職場で7年間勤めあげることができました（今でも毎日薬は飲んでいますが）。

しかし、7年が経ち、異動しなければならぬことになりました。3回異なる地区に異動した人は、その後同じ区内で異動できるのですが、私は前に一度教員から離れていたため、適用外というこ

とで他所の地域に行かなければならないということがわかりました。区市が異なると、学校の運営の仕方や行事、研修などの形が大きく異なるため、自分は新しい所に行ったらまたうつ病を発症してしまうだろうなあと考えたのでした。そこで、その区の非常勤職員の仕事（勤めていた同じ学校での仕事です）をすることにしました。週2回、1日4、5時間の勤務で収入は月に8万円ほどですが、まあ、ローンもないし、なんとかやっていけるだろうと。今、のんびり働きながら、家では家庭菜園を楽しみ、ぬか漬けをしたり、家事にいそしんでいます。

周りには元気に仕事をしている人もいれば、うつ病で休職している人もいます。無理せず楽にできる方法があるのなら、その道でよいと思うのです。

お金を稼ぐ、仕事をするというのは生きていくための手段であって、大事なことは、全てを与えてくださる神様に感謝して日々を過ごすことだと思っています。

53歳の近況を絡めて

高嶋明子

親のために

一昨年夏、母を数日ショートステイに預けるため、迎えに来た施設員さんと私とで外の担架の置き場所まで、力が抜け動けない重い母の身体を担ぎ運んだ。何がなんでも母を床に落としてはならないという強烈な使命感だった。時間にすれば僅か10分足らずのことだったがその記憶は消し難い。施設に到着するも血中酸素濃度が低く向かいの病院で検査したところ、肺に水と血液が溜まっており危険な状態で、救急車で多摩総合医療センターのERへそのまま搬送。

覚悟してと言われたため、夫にバイオリンを運んでもらい、もし母とここで別れになったとしたら、ダメと言われても母の前で弾くつもりだった。その後7ヶ月の入院生活を経て、現在は特養に入居、数ヶ月に1度の通院の際のみ母に会える。母は車椅子での生

活ながらも元気に暮らしているが、コロナ禍で自由に会うことが叶わず、父を悲しませている。実家の近所に住む姉に助けられ、介護保険サービスを使いながら一人暮らしを続けている父（もうすぐ91歳）。歩きがおぼつかないため、見守りなく外出は出来ず、時折ベッドや椅子から転倒することもあり、身体の不調を訴えると病院へ付き添ったりと、基本的な生活が回るようなサポートを行うことが私の生活の一部になっている。

自分のために

現在の両親のように自力での生活がままならなくなる時が訪れるかもしれないという不安、また更年期特有の体と心の不調持ちの自覚がある。それを可能な限り減らしていくべく、あたり前のことになるが、きちんと頭を使うように「あれ、それ、これ」発言の禁止。きちんと料理をする（便利道具に頼らず、手の感覚を研ぎ澄ますべく、野菜の皮剥きは包丁のみで行う）。楽しく美味しく感謝して食事をする。運動する。身近な自然と触れ合い心の安寧を得る。

以上を心がけて行っている。

楽しむ

中西尊司

コロナもようやく少し明るい兆しが見えてきたようだ。まだ安心はできないし、何が起るかわからないが、このような中で暗いことばかり考えていても仕方ないのでは少しでも楽しみながら人生を過ごす工夫をしています。何でも楽しむことが心と体の健康にプラスになると考えています。

多くの人が在宅勤務する中、仕事の特性上ほとんど毎日出勤しています。おうち時間を楽しむことができないのは残念ではありますが、感染対策バッチリでの出勤の毎日にはこれまでとは異なった風景があり、私はこれを楽しんでいます。自分の行動にも少し変化がありました。基本的にやること一つひとつが丁寧になったこと、そしていろんな空間を感じるようになった気がしています。これまで仕事のことを考えながらただ機械的に歩いていたので、

いまは空を見上げて、その表情を感じます。いろいろな雲が浮かんでいます。面白い形の雲があれば好きな名前をつけてみます。そして体を包む空気を感じて、呼吸により体に入ってくることを楽しみます。雨の音や匂いもいいですね。こんな感じで自然を楽しんでいると、心が解放されて結果的には仕事にも良い影響があります。

健康維持のためには、すごく教科書的ですが、運動と食事に気をつけています。これまた工夫することと楽しむことが大事なので、飲み会や会食のような派手な楽しみは完全に消滅したので家と社員食堂でのひとときにたっぷり時間をかけて楽しみます。健康には早食いはNGですから野菜や米など口に入れたら先ずはやさしく広がるうまみを感じ取ります。食べることへの感謝の気持ちがいってきます。更に食べる順番や糖質の量に気をつけます。これに加え週2、3回のジム通いによって体の状態は変化します。定期的な血液検査では面白いくらい直前3カ月の生活が反映された結果が出ます。健康診断も楽しんでいきます。

心と体を整える主

原 良介

中高は野球、大学はラクロスと、部活のために学校に通っているような人間だったが、30歳を前にして、体を気にかけないといけなくなってきた。ちなみに、野球を始めたきつかけは、教会学校の男子クラスでの分級だった。毎週のよう

に山下西公園に移動し、若かりし頃の石室校長が投げる球を打ち、分級後は石室兄が買ってくれるジュースをいただいた。自分がCS教師になって思うのだが、当時は一体どんな分級計画が組まれていたのか…。ただ、それがきっかけで野球部に入り、CSは部活で欠席続きとなったが、後に教会に戻り、受洗に至った。神様のご計画は計り知れず、石室兄の伝道の業にも感謝している。

話が逸れてしまったが、社会人になって運動する機会が減り、少しの運動でも準備運動をしなければ心配になる。ただ、社会人にな

ってからも、体を動かしたい衝動に駆られる。そんなとき、会社の先輩の誘いでロードバイクに乗ったら、一漕ぎでスーツと進み、風を切る快感と、都会をポタリングする楽しさにハマった。気軽にできる運動としても最適だったし、コロナ初期の電車移動が制限された時期も、ロードバイクのおかげで安全に教会に通うことができた。

もう一つ、社会人になってからキャンプを始めた。こちらも体を使うが、運動よりも心のメンテナンスがメインだ。青年会の高尾山ナイトハイイクで、コーヒーとカップ麺を山頂で楽しむために、バーナーを買ったのがきっかけで、道具を少しずつ買い揃え、キャンプに行くようになった。日常の喧噪を離れ、時間を忘れ、頭を休めながらも心を養う感覚はそうは味わえない。何より、神様が良しとされた自然に包まれ、それらを慈しみ、自分が如何に恵まれているかを知るとき、不意に祈りたくなる。創造主が私の心と体を整え、常に捕らえてくださっている。

「天は神の栄光を物語り／大空は御手の業を示す」(詩編19・2)。

Happiness Index

角田 誠

英国科学雑誌Natureを毎週読んでいます。と言っても、すべての論文を英語で読むほどの英語力もないし、時間もありません。タイトルや概要に目を通して、興味があれば、本文を読む。昨年来、COVID-19やSARS-CoV-2に関する記事や論文が多く見られるようになったことは言うまでもない。そんな記事の中で、昨年のある記事が印象に残っている。

その記事は、バーモント大学の研究者らが世界の幸福度の定量化(彼らは、Happiness Indexと呼んでいる)を行っているという内容であった。毎日ランダムに抽出されるツイートに含まれる単語がポジティブかネガティブかで、ツイーター上の人々の感情を追跡、評価している。昨年3月中旬、COVID-19のパンデミックが欧米を襲ったとき、Happiness Indexはかつてない低値となった。世界

中の多くの人々の感情が深く(しかも持続的に)落ち込んだことがグラフとして明確に示されていた。なお、Happiness Indexは現在、2019年の水準まで戻っている。

私はそのグラフを見て、毎年1回必ずHappiness Indexが大きく増えている日があることに注目した。それは12月25日、つまりクリスマスであった。主イエスのご降誕は、世界中の人々を1年でもっとも幸福にしている。2000年前に、東方の博士たちが星を見て喜びにあふれたように。

私のHappiness Indexはというと、コロナ禍で落ち込んではいない。強いて落ち込みを言うならば、海外に行く機会がなくなったことであろうか。2年前に、イスラエルを訪れたのが最後である。SARS-CoV-2も生きていられないであろう死海で、空を眺めながらぶかぶか浮いていれば、私のHappiness Indexは急上昇するかもしれない。何とツイートするだろうか？

恵泉だより

1990年に経堂北教会で洗礼を受けた者です。2005年度からは、現在協力牧師をしている千歳船橋教会に出席しているため自己紹介をさせていただくと、受洗後、1992年に東京神学大学に編入学してから卒業まで、経堂北教会の皆様が支援していただき、指導していただきました。ありがとうございます。2003年度から、教務教師として恵泉女学園中学・高等学校で聖書科の教員をしています。

2020年2月27日の全国一斉休校の要請からの恵泉の歩みは、礼拝の捧げ方を振り返るだけでもいくつもの局面がありました。初めは教職員のメッセージを録画して生徒にYouTubeで配信。登校が可能になってからも、講堂の入場者を3学年から1学年に絞り、讚美歌は歌わずにパイプオルガンの奏楽を聞いて礼拝し、他学年はホームルームの電子黒板で同時中継されたものを視聴。第5波では、登校する生徒とオンライン参加の生徒両方がいたのだと、Google

Meetを使って対面、オンライン併用の礼拝。現在は讚美歌も全節歌えるようになりました。

オンラインの礼拝でよかったのは保護者もメッセージを聞いていただいで共有できたことです。ただし、もちろんコロナ禍はよいことばかりではなく、生徒の様子を見ていて最も大きかったと思われるのはクラブ活動に関わることでした。高体連のウェブサイトに、ある日いきなり、高校3年生にとつては引退試合となる大会の中止が告知される。学園生活において最も熱心に長い時間をかけて取り組んできた成果を表す機会を、あまりにあっけなく失ってしまふ。その時の気持ちを聞かせてもらっても、とうてい私には分かり得ない、心が守られるように願うしかないことが起こりました。

「道」を見出す過程を語るものでした。未曾有の困難にあつても、なお伸びゆく若き人の魂をその言葉によつて垣間見、聴く者たちはどうにも強く心を揺さぶられ、講堂全体が異様と言つていいような厳肅さに満たされました。恵泉をよく知るある同窓生が学園の歴史に残る答辞だったと仰つていたこと、その深みは逆境の中でこそ語られたものでした。

個人的には2019年夏、引率したオーストラリアの短期留学に参加した生徒の一人で、僅か1年半での進路の根幹に関わる大きな変化に驚きました。生徒の成長の可能性の幅は私ごときの思いの枠を超えている、固定的な見方を変えよと自戒させられ、またそれは喜びでもありました。

この文章を書くに際して、休校中、最初にZoomで授業をした時のことを思い出しました。キリスト教に関わる世界遺産を紹介した後、レポートの下調べの課題を出したところ、大げさに言うとかで課題を送信して提出した生徒がいました。もともと世界に思いを馳せていたのでしょうか。ニユート

ンが万有引力の法則など重要な発見をしたのは、ロンドンがペストでロックダウンになり、大学を離れざるを得ない時だったということ、たといえ体は自由を強いられていても、精神は自由だ、世界に宇宙に思いを馳せることができる生徒に示されたことを思い出しました。

学校は社会の縮図でもあるので、コロナ禍で家庭において、仕事において深刻な事態にある人は少なくありません。しかし、キリスト教は逆説をいう宗教、逆境の中の宗教ゆえ、その福音の聞ける学園として歩みたいと願っています。皆様への祝福をお祈りします。

(須田則子)



礼拝の様子

説 教

『恵みの言葉』

コロサイの信徒への手紙4章6節前半

岸 俊彦

「塩で味付けられた快い言葉」とは、どんな言葉なのでしょう。

口語訳聖書は「塩で味つけられた、やさしい言葉」でした。「好意に溢れた言葉」「塩味の効いた言葉」という訳もあります。「塩で味付けられた刺激に満ちた言葉」という訳もあります。「快い」ことを意味するギリシャ語はカリスです。「恵み」を意味します。恵みの言葉です。ただ甘いのではなく、塩味がピリツと効いた恵みの言葉です。

かつては日曜日に家族そろって教会に行きました。長男が自由に走り回ったり、おしゃべりできるようなったのは3歳くらい頃でしょうか。教会の中を走り回っていると、「可愛いわね」と声をかけてくれます。親にとつてありがたいこと、嬉しいことでした。息子が照れてニヤニヤとでもすれば、頭を一つなでてもくれたこと

でしょう。ところが「可愛いわね」と言われると、息子は「バカ」と憎まれ口をたたいて逃げていくのです。声をかけてくれた人はビツクリ、目をパシパシしていました。もちろん、親もビツクリ。「こらー」と叱りつけるのですが効き目はありませんでした。日曜日ごとにこの繰り返しでした。

長男は赤んぼ頃の頃から疝が強く気難しいと、初めての子育てのこともあって妻は苦労しました。妻の実家に帰省すると、祖母が名前を呼びます。すると教会と同じで「バカ」と言つて逃げ回りまです。牧師の息子にもかかわらず、気難しい孫のために疝の虫を封じようとお宮参りしようとしたくらいでした。

教会でも外でも同じくらしい年の子を見ると、なぜか手を出します。その親御さんは驚き呆れ、こちらは息子を叱り、謝るほかあり

ませんでした。母親はやめさせようと手を引つ張つて、息子の肩がはずれたこともあります。ともかく大変で、将来この子はどんなのだらうと心配というか不安というか、ある面恐ろしい気もしました。

教会には色々な方が集まります。可愛げのない息子に驚く人もいれば、実は、そうでない人もいました。コドモの園幼稚園の園長だった長谷川眞美子先生はその一人でした。息子を見ると、本当にこやかな顔で優しい声で、「よく育っているわね」と声をかけてくれました。「将来が楽しみね」とも。

眞美子先生は、幼児教育、保育のプロです。どれほど沢山の子どもと親御さんを見てきたことでしょうか。その一言で、正直言つて夫婦ともホツとしました。子育てに悩み、不安と恐れにとらわれていた二人が、慰められ励まされ支えられました。まさに「塩で味付けられた恵みの言葉」でした。

聖書は神の恵みの言葉です。どんな子どもも、もちろん私たち一人一人も、御自分によく似た神の

子です。神が命を与え、育て、支え、その生涯を導いてくださいます。その独り子イエス・キリストをお与えになったほどに、神は私たちを愛してくださいます。この神の愛に気付いた者が、「塩で味付けられた恵みの言葉」をかけることができるのです。神が育ててくださることを信じる者の言葉は、心配や不安、恐れの中にある親子を、きつと支え、導き、思い煩いから解き放つてくれるでしょう。子ども親も、時にきびしい言葉で、塩味のきいた言葉で反省を強いられることもあるでしょう。

息子が中学生になつて、教会学校の仲間と入院中の方をお見舞いしたことがあります。その方から「あの子だったのか」と言われて、息子はビツクリしました。自分が覚えられ祈られていたからです。

祈りの子は亡びないと言われまです。大変な世の中、苦労している親子を祈りに覚えたら、きつと神様の恵みが、守り、支え、育ててくださいます。私たちも共に守られ、支えられ、育てていただけませう。(キリスト教保育連盟関東部会継続研修会開会礼拝説教)

伝道師の書き込み

10月の教団常議員会にて、正教師試験の合格が正式に承認され、12月6日に接手札が行われることが決定しました。

今年度の前半は試験で慌ただしくしており、あまり気が行っていないなかつたのですが、今になって一息ついてみますと、改めてこの経堂北教会で過ごす時間も、もう残り少ないのだということを実感させられます。

牧師の書斎から



青山学院大学青山キャンパスの礼拝で説教しました。2年振りです。説教は8分、奏楽5分、讃美歌・聖書朗読・祈祷7分、あわせて20分です。主日礼拝で取り上げたローマの信徒への手紙1:28-32をテキストに「罪と向き合う」と題して説教しました。

マスクをして学生は1人おきに座り、百人弱の出席者でした。讃美歌・頌栄は歌わず1節のみのオ

10月をもって、今年度の4月から聖書研究祈祷会で取り扱っていたヘブライ人への手紙を読み終わりました。「ヘブライ人への」という書名の通り、旧約聖書から多くの引用がされている手紙ですが、中心にあるのは旧約を基礎に据えながら、そこからいかに主イエスによって齎された新しい契約に生かされるか、主イエスによって神様の御許に近づいていくかという問題を取り扱うものでした。11月からは祈祷会ではコヘレトの言葉を取り扱う予定です。あまり

ルガン演奏でした。対面で礼拝するために苦心した結果でしょう。

キャンパスに学生たちが随分いると感じたのですが、通常の5、6割ということでした。大教室は「三密」を避けるためオンラインと併用です。先生方は講義録画のため随分と努力されているようです。質問についてはメールでやりとりとのことでした。コロナ禍のキャンパスライフが人生の糧となるようにと祈るばかりです。

キリスト教保育連盟関東支部会継続研修会開会礼拝の説教はオン

読まれない箇所を扱おうという思いと、3月までに終えるのに丁度良い量のものはないかと探した結果、決めたものです。個人的なことを言えば、この文書全体の雰囲気が好きだということもありますが、終わりに向けてということでは、説教のテキストについても考えざるを得ません。進み具合からして、間違いなくマルコによる福音書全てを読み切ることはできませんので、それなりに区切りよいところを目指してみようか、それとも、そう気にすることもなから

ラインでした(今月号掲載説教)。事前にオンラインで打ち合わせました。担当者はオンラインの設定に慣れていて、本番もスムーズにできました。オンラインでの出席者は45人でした。それぞれの職場や自宅からの参加だったでしょう。全員の顔が一度にモニターに映るわけではありませんから、ほとんど原稿とカメラとの間にらめっこという感じでした。

讃美歌、聖書朗読、説教、祈りで15分とのことでした。ヒムブレイヤー(讃美歌自動演奏機)に合

うか。そんなことも説教準備の際に考えるようになりました。

それから来年4月以降の赴任先についても準備を進める時期に入りました。11月には声をかけて頂いている教会を一度訪ねる予定が入っています。思えば経堂北教会ではじめて皆さんにお目にかかったのも同じ時期でありました。信仰生活を共にするかもしれない教会へ行くというのは、ただ他の教会の説教奉仕に行くのと比べて随分心持ちの違うものであったことを思い出します。(狩野進之佑)

わせて「きみのたまものと」(讃美歌21-515)と自分がリードするのは正直恥ずかしいことでした。説教は10分間、キリスト者でない保育者にも分かるようにとのことでした。代表者の挨拶の後、オンラインでグループに分かれての懇談に移るところでミーティングから退出しました。後から何うと、コロナ禍だからこそ、オンラインであつても話し合うことはとても大切だとのことでした。

一昨日も昨日も明日も明後日もオンライン会議が続きます。(岸)

個人消息



長老のファイル

10月の長老会は神学校日の礼拝後に行われました。礼拝では予定通り東京神学大学の菊地信行神学生の説教と祝福が行われました。

集会報告、会計報告、教会学校・各委員会報告と先生からの報告、予定の説明などのあと、コロナウイルス対応、召天者記念礼拝（午前・午後）担当確認がありました。昨年同様、遺族・教会員を分けて2回礼拝を行うことになっ

ており、遺族にはご案内が郵送されています。今年も愛餐会は中止となります。

第2週は教会学校との合同礼拝を実施します。第3週、創立84年の記念礼拝は岸先生の説教と聖餐で行われます。そして、第4週からはアドベントに入ります。

12月クリスマス諸集会についてはクリスマス礼拝（12月19日）は今のところ昨年同様2回に分けて行われる予定です。またイブ礼拝は通常の礼拝と同じ形式になります。クリスマスの祈禱会は中止

掲示板



- 合同礼拝・幼児祝福式
11月14日(日) 午前10:15
- 教会創立84周年記念礼拝
11月21日(日) 午前10:15
- アドベント 11月28日(日)
- クリスマス礼拝 12月19日(日)
- クリスマス・イブ礼拝
12月24日(金) 午後7:00

編集後記



▽年々、体の衰えを感じて、朝晩ストレッチをしていますが、体重は衰えません。運動不足だとわかってはいるのですが…。(酒井)

となります。以上のように、コロナウイルス感染に気を付けつつ、変わらず神様を賛美礼拝することに努力したいと思います。また、受付での体温測定は10月いっぱいまで修了しました。引き続きご家庭でのチェックをお願いします。

80周年の記念事業としての懸案でした、プロジェクトとスクリーンの購入が決まりました。これによって、現在行われているユーザーによる配信だけでなく、必要に応じて、双方向の礼拝などでもできるようにする予定です。例

えば、礼拝後に前の席の方々がご挨拶でカメラに手を振っているのをご存じでしょうか？ お家で礼拝に出席されている方から、手を振り返しているのよという話を聞きましたが、振り返っているのを教会で見ることが出来るそうです。

コロナウイルスの影響はまだ続いていきます。私たちはできることをして、礼拝を守り続け、神様の御用のために働きたいと思えます。(志摩屋恭子)

「栄 光」2021年11月号
日本基督教団 経堂北教会
〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-21-11
電話：03-3428-5029 / FAX：03-3428-5038
牧師：岸 俊彦 伝道師：狩野進之佑
編集：栄光編集委員会
Email：kyodon@nifty.com
HP：http://kyodokita.life.coocan.jp